

芦屋町に生を受け偉大な足跡を残した矢野倅一氏。独創的な発明家であり、今日の自動車社会を語る上で欠かせない偉業を成し遂げた技術開発者として、平成23年に「日本自動車殿堂」に殿堂入りされました。矢野氏の業績と思想を追い、成し得たことを称えるとともに、生誕地芦屋との関わりに重点を置いた展示を行います。

## 矢野倅一(やの こういち)略歴

- 1892 (明治25)年10月 福岡県遠賀郡芦屋町に生まれる
- 1909 (明治42)年4月 福岡県立福岡工業学校機械科に入学
- 1912 (明治45)年4月 福岡日日新聞社主催の模型飛行機大会で最優秀賞受賞  
5月 受賞の記事を見た村上義太郎氏の訪問を受け、自動車づくりを決意
- 1912 (大正元)年12月 フランス製四輪車ド・テイオン・ブートンを改造
- 1913 (大正2)年3月 福岡県立福岡工業学校機械科を卒業  
8月 国産小型自動車の研究開発に着手  
12月 設計開始、車名を「アロー号」と命名
- 1915 (大正4)年9月 アロー号のエンジン、シャーシが完成するも不調、ドイツ人捕虜ベンツ社技師ハルティン・ブッシュ氏の指導を受ける
- 1916 (大正5)年8月 アロー号完成
- 1918 (大正7)年4月 梁瀬商会博多支店自動車修理工場の主任となる
- 1920 (大正9)年11月 矢野式機械式ダンプボディを開発、熊本県庁に納入
- 1921 (大正10)年7月 福岡県芦屋町から折尾までの定期乗合自動車路線の許可を受け開業
- 1922 (大正11)年4月 村上義太郎氏逝去(享年74)  
11月 矢野オート工場(現:㈱矢野特殊自動車)創業
- 1924 (大正13)年5月 空冷式V8エンジンを開発
- 1925 (大正14)年12月 水冷式V8エンジンを開発
- 1930 (昭和5)年3月 芦屋町より依頼を受け特殊消防自動車を開発・製作・納入
- 1942 (昭和17)年11月 矢野式機械式ダンプの生産が軌道に乗る
- 1953 (昭和28)年11月 ㈱矢野特殊自動車製作所に改組
- 1958 (昭和33)年9月 国産初の機械式冷凍車の開発に成功
- 1959 (昭和34)年9月 NHKテレビ「私の秘密」にアロー号と共に出演
- 1968 (昭和43)年11月 勲5等 双光旭日章を授与される
- 1975 (昭和50)年10月 逝去(享年82) 内閣より正六位に追叙される
- 1990 (平成2)年3月 アロー号が福岡市博物館に寄託される
- 2009 (平成21)年8月 アロー号が日本機械学会より「機械遺産」に認定される
- 2011 (平成23)年12月 日本自動車殿堂入りし、顕彰される



明治30年代  
芦屋住の高等小学校在学時  
飛行機研究家 矢野良一氏と会い影響を受ける



大正元年12月  
フランス製自動車、ド・テイオン・ブートンを改造



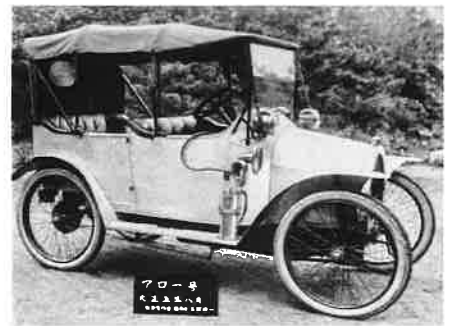
大正10年7月  
福岡県芦屋町から折尾までの定期乗合自動車路線の許可を受け開業



昭和5年3月  
芦屋町より依頼を受け特殊消防自動車を開発・製作・納入



明治45年4月  
福岡日日新聞社主催の模型飛行機大会にエンジン付模型飛行機で参加。最優秀賞受賞



大正2年~5年  
国産小型自動車の研究開始。アロー号と命名し、開発に成功する



大正11年  
矢野オート工場(現:㈱矢野特殊自動車)創業。主力のダンプトラック



昭和40年代  
晩年にいたるまでアロー号を整備・保存する